

平成27年7月22日～7月23日 永瀬ダム(高知県 ダム)における洪水調節の効果について

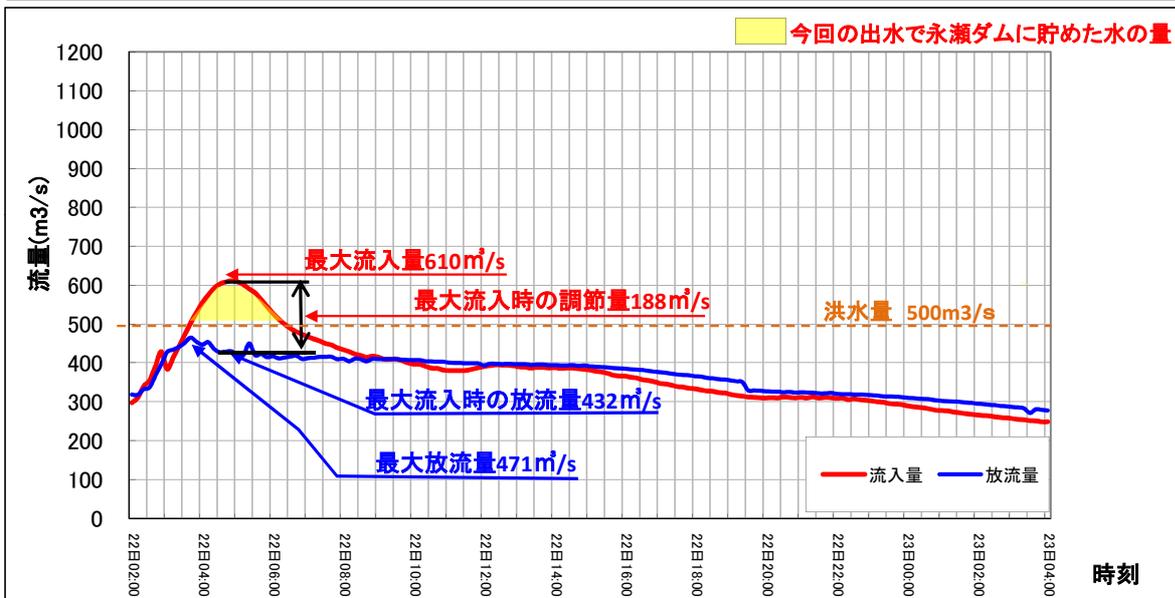
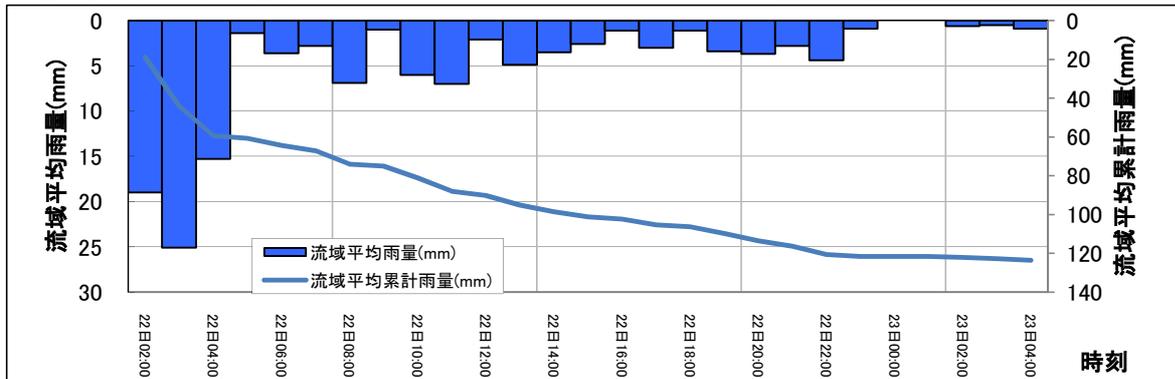
● 洪水概要

低気圧の影響により、永瀬ダム地点で、7月22日2時～7月23日4時にかけて累計92mm(7月22日2～3時に時間最大43.0mm)の降雨が観測されました。

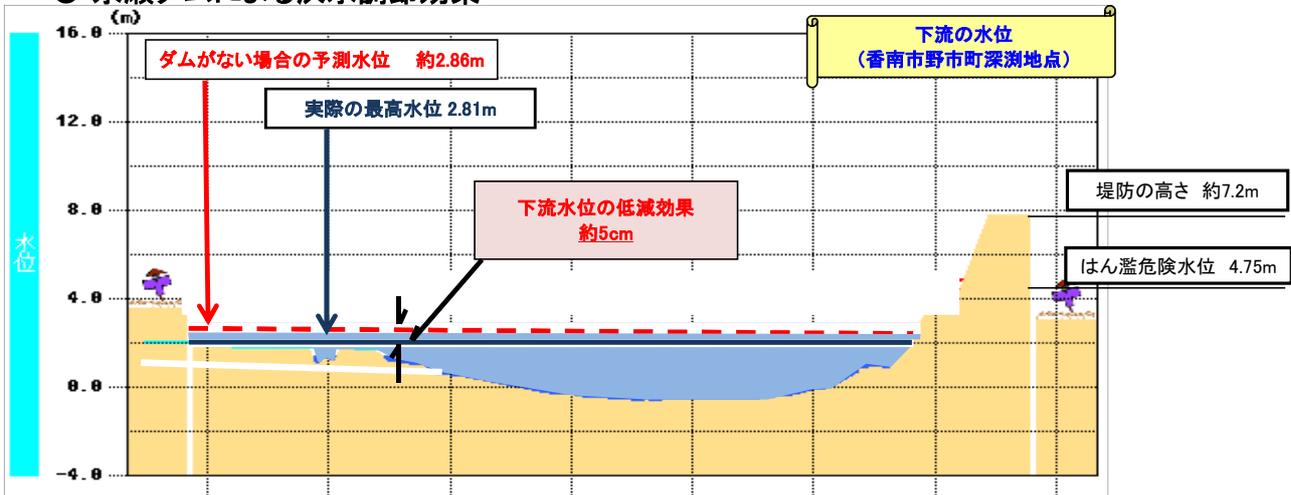
永瀬ダムでは、ダムへの最大流入量毎秒610m³の16%を貯留し、ダムからの放流量を毎秒432m³に低減しました。
この操作により、ダム下流の深淵水位観測所において今回の大雨による河川の最高水位を約0.05m低減させたと推定されます。



● 永瀬ダム洪水調節図



● 永瀬ダムによる洪水調節効果



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。